

山形県酒田市では、公共施設のコスト削減と温室効果ガス排出量の削減を目的として、コミュニティ施設28施設、小中学校20校、道路照明304カ所を対象とした、公共施設等LED化改修業務(ESCO事業)を実施。公募型プロポーザルによる審査の結果、東芝エレベータ共同事業体が選定され、大規模な照明LED化を実現しました。

江戸時代から北前船の寄港地として栄える山形県酒田市は、県北西部の日本海沿岸に位置する人口約10万人の港町です。自然に恵まれた環境のもと地域コミュニティ振興会などの活動も積極的に行われ、今回ESCO事業の対象となったコミュニティ防災センターでは、健康の維持増進、介護予防や生きがいづくりにつながる交流イベントも定期的に開催されています。



【物件概要】
所在地：山形県酒田市
事業対象：コミュニティ施設28施設
小中学校20校
道路照明304カ所
受託：東芝エレベータ共同事業体
事業役割：東芝エレベータ株式会社
施工・設計役割：株式会社ベストサポートシステムズ
竣工：2026年3月

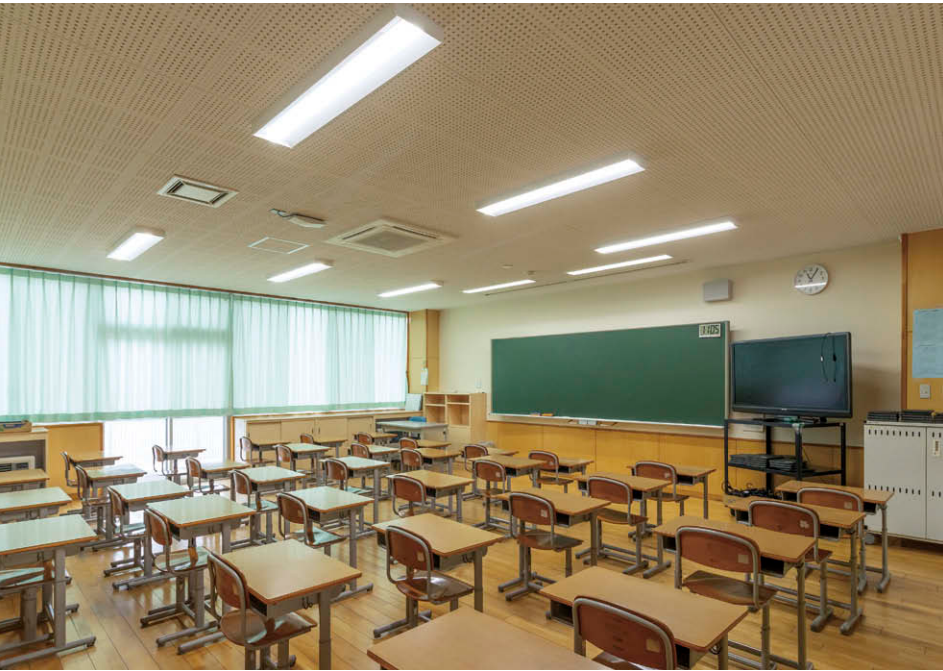


亀ヶ崎小学校(体育館) 20校の小中学校に132台のLED高天井器具まぶしさ低減タイプ①を納入

重要な地域拠点と小中学校、道路照明をLED化し、市民生活の安全性向上と大幅な省エネを両立。

山形県酒田市では、市内を学区や地域ごとの「単位コミュニティエリア」に分け、それぞれの地域にコミュニティ(防災)センターを整備しています。これらの施設は、地域住民の交流拠点であると同時に、災害時には避難や情報共有の拠点となる重要な公共施設です。今回の公共施設等LED化改修業務(ESCO事業)では、これらコミュニティ施設28施設、小中学校20校、道路照明304カ所を対象とし、2026年4月1日から2028年3月31日まで、2年間の消費電力量を1,527,790kWh削減、約6,132万円の電気料金削減が保証されています。

LED照明器具への更新は、空間の明るさが既設器具と同等かそれ以上になるように置き換え。学校の体育館では、まぶしさを抑え、耐震クラスS2の耐震性能を備えたLED高天井器具に更新し、各教室はLEDベースライトTENQOOシリーズを中心に、黒板灯、グレア抑制タイプも採用しています。また、304ヶ所が更新された道路照明では、電源ユニット内蔵式で水害時などの故障リスクを低減するLED道路灯を採用。施工後にも角度調整が可能な器具を選定し、道路拡張や光害の低減にも柔軟に対応可能な仕様としています。



松原小学校(普通教室) LEDベースライトTENQOOシリーズの下面開放箱形②と黒板灯③を採用



亀ヶ崎小学校(音楽室) 学校施設では空間に合わせてLEDベースライトグレア抑制タイプ④を採用



松陵学区コミュニティ防災センター(防災集会室) LEDベースライトTENQOOスクエア⑤を採用



浜田学区コミュニティ防災センター(集会室) 既設器具に合わせてLEDベースライト⑥に更新



道路灯 道路照明に必要な明るさに応じてLED道路灯⑦等へ更新

主な掲載器具一覧					
設置場所		器具名(品種名)	形名	台数	備考
学校施設 体育館 他	①	LED高天井器具 まぶしさ低減タイプ 1kW形水銀ランプ器具相当	LEDJ34005DN-LD9	132	消費電力：174.0W
	②	LEDベースライトTENQOOシリーズ 40タイプ 直付形 直付下面開放 箱形	LEKT425694HN-LS9	1,716	消費電力：36.0W
	③	LEDベースライトTENQOOシリーズ スクールソフト 黒板灯	LEKT414323N-LS9	238	消費電力：19.5W
	④	LEDベースライトTENQOOシリーズ グレア抑制 埋込形 下面開放 W220	LEER-42202-LS9 + LEEM-40524N-HGD	154	消費電力：26.4W
コミュニティ防災センター 他	⑤	LEDベースライト TENQOOスクエア パネルタイプ FHP32形×4灯器具相当	LEKR745851FN-LD9	185	消費電力：43.0W
	⑥	LEDベースライトTENQOOシリーズ 40タイプ 埋込形 下面開放 W220	LEKR422694HN-LS9	508	消費電力：36.0W
	⑦	LED道路灯 高圧ナトリウムランプ180W相当 水銀ランプ300 W相当	BRP471_79CW56WDW	218	消費電力：50.0W